

大分在来トウモロコシ「もちとうきび」 コーンスプラウトの高品質・安定生産への挑戦



連携機関

大分工業高等専門学校(一般科理系) 合同会社 Farm Sam
准教授 森田 昌孝 CEO 高松 修

■ 事業概要

江戸時代に大分へ伝来した在来トウモロコシ「もちとうきび」
本事業では、スプラウト技術と在来作物の農学的知見を融合し、国内初となる
「もちとうきびスプラウト」を創出、ブランド化・地域特産化に向けた試験を実施。

■ 研究・開発のポイント

- ・ 発芽・栽培技術の確立（栽培方法で特許出願）
- ・ 成分分析による付加価値化（グルコース特定、ビタミンC含有確認）
- ・ メディア発信・試験販売による市場性検証



■ 主な成果

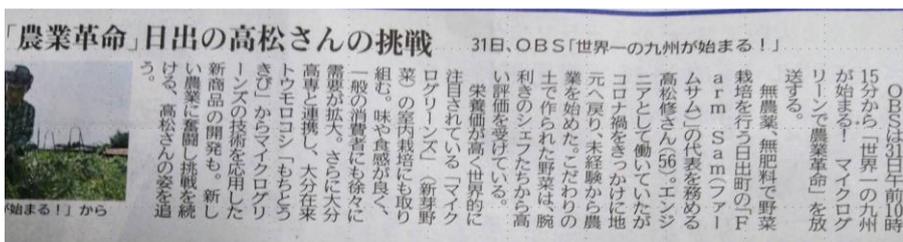
【知的財産】

- ・ 商標登録「紫ノの芽」（2025年6月12日）
- ・ 特願2025-169703 スプラウトの栽培方法（2025年10月7日）



【メディア掲載】

- ・ Yahoo!ニュース／FM大分／大分合同新聞／RKB毎日放送



■ 試験調査先(レストラン等との連携)

- ・ 坐来（2025年9月～メニュー化）
- ・ ブエナスタ（西大分）・ホテル日航大分

